

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業	
事業名	人形芝居「ゲゲゲの鬼太郎 決戦！竜宮島[境港・調布編]」			
目的・内容	親と子が文化芸術に親しむことができる鑑賞機会の提供を目的に実施。舞台芸術の鑑賞機会が少ない地方において、優れた舞台芸術の公演を行うことにより、テレビ・映画とはまた違った魅力を家族一緒に楽しむことができる。また、鑑賞することで、子どもたちの想像力をかきたて、心豊かな感性を育む。			
開催日時	平成22年9月11日(土) 開演14:00			
会場	境港市民会館 大ホール			
入場料 (友の会・団体)	おとな 2,500円 (2,000円)	高校生以下 1,000円 (900円)		
集客状況	入場者数 301名	設定席数 1,100席	集客率 27%	
事業費状況	予算額	収入 1,260,000円	支出 1,955,000円	収支比率 64%
	決算額	収入 528,100円	支出 1,871,788円	収支比率 28%
来場者アンケート (主なもの) 回答者数 69名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく出来ていて、おもしろかった。子どもが喜びました。</li> <li>・子ども(3歳)が楽しんで観られて良かったです。怖さの中にユーモアがあって、ちょうど観やすかったのだと思います。</li> <li>・予想以上に人形の動きがリアルでびっくりしました。また機会があれば子どもと観に来たいと思います。</li> <li>・原作がとても有名なもので、人形劇化された作品についてはどのようなものになるのか興味津々でした。人形ならではの楽しい仕掛けや動きがあり、音楽と照明の効果的な演出もあって見応えがありました。</li> <li>・すごくおもしろかった。キャラクターがかわいかった。少し怖くて楽しかった。</li> <li>・後ろの席だとややステージ上が遠く見えづらいことがあった。</li> </ul>			
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者の満足度が非常に高い公演(92%)であり、子どもの鑑賞者拡大に繋げることができた。また、アンケートの結果から初めての来場が42%あり、新規顧客開発もできたと思われる。</li> </ul> <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年前の人形劇公演の販路を活かしつつ販促にあたったが、開催日の問題(運動会と重なる)はもとより、思った以上に関心が低く、集客目標に遠く及ばなかった。</li> <li>・企画提案者との連携に大きな課題を残した。</li> </ul>			
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生の舞台を親子で体験する機会はとても大切なことであり、話題の鬼太郎をタイムリーに地元で鑑賞できる企画はとても良いと思う。</li> <li>・鑑賞できた子ども達は、素晴らしいお宝をもらったに違いない。ゲームやテレビには伝えることが出来ない生舞台だけが持つ独特の雰囲気会場流れ、子ども達を釘付けにしていた。</li> </ul> <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ番組の人気は、大人の世界であると思われる。集客戦術でテレビの人気を過信してはいなかったか、検証してみる必要はないだろうか。</li> <li>・どの催しもそうだが、教育現場との提携・協力をいかに図るか、双方で根本的な論議をしなければならない時期かも知れない。</li> </ul>			
今後の対応、 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じやり方で同様の結果を得られるわけではないので、今回の反省点や改善点を企画制作部で共有し、次回の公演に活かすようにしていく。→実施中</li> <li>・企画提案者の協力体制については、双方の業務分担、チケット販売目標枚数などを明確にした上で、推進するようにしていく。</li> <li>・境港の水木しげる関連の盛り上がりやNHK朝のテレビ小説「ゲゲゲの女房」の話題性、700名以上の入場があった2年前の人形劇公演(クラルテ「11ぴきのねこ ふくろのなか」)などを踏まえて本公演を選定したが、今後は地元の二状況、ニーズも把握した上で、選定するようにしていく。</li> <li>・教育現場との提携・協力については、教育委員会と連携等が可能な事項を協議するようにしていく。</li> </ul>			